

<ゲストスピーカー プロフィール>

大石 俊輔（日本ファンドレイジング プログラム・ディレクター）

2008年3月法政大学大学院政策科学研究科修士課程修了。学生時代より、まちづくり、文化芸術分野のNPOでのボランティアを経験。同年4月より特定非営利活動法人せんだい・みやぎNPOセンターに勤務。2010年6月より現職。2010年日本で初めての寄付白書の編纂で中心的な役割を担うとともに、次世代向けのフィランソロジー教育である「寄付の教室」実行責任者として活躍中。

※日本ファンドレイジング協会：2009年に日本全国47都道府県から580人の発起人の賛同を受け、善意の資金10兆円時代の実現を目指して設立された。認定ファンドレイザー資格制度や子ども向けの社会貢献教育、遺贈寄付の推進、寄付白書の発行などに取り組んでいる。

木村 真樹（あいちコミュニティ財団 代表理事

／コミュニティ・ユース・バンク momo 代表理事）

1977年愛知県名古屋市生まれ。静岡大学卒業後、中京銀行勤務を経て、A SEED JAPAN 事務局長や ap bank 運営事務局スタッフなどを歴任。2005年にコミュニティ・ユース・バンク momo、13年にあいちコミュニティ財団を設立し、NPO（50団体/16年）への助成・補助・融資（5,000万円/16年）による資金支援とボランティア（457名/16年）との伴走支援に取り組んでいる。

※あいちコミュニティ財団：東日本大震災をきっかけに市民ファンドの機運が高まり、2013年に設立された団体。市民公益活動団体等の組織基盤を強化し、安心できる地域の未来を創造するために、市民から資金等の資源を募り、市民公益活動を行う団体等に対する資金支援と伴走支援を展開している。